

陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ稚仔分布調査結果について

本調査は、令和6年2月6～7日及び3月6～8日に陸奥湾湾口周辺海域の12地点で、試験船・青鵬丸(65トン)でボンゴネット往復傾斜曳(水深0～50m)により実施しました。その結果、2月、3月の調査ともに全調査点でのイカナゴ類の採捕はなく(図1)、主要調査地点の2～3月平均稚仔分布密度は0個体/m³と、これまでの調査において過去最低の結果となりました(図2)。(担当: 資源管理部)

※令和6年度の陸奥湾湾口周辺海域のイカナゴ漁は、操業自粛が決定しています。

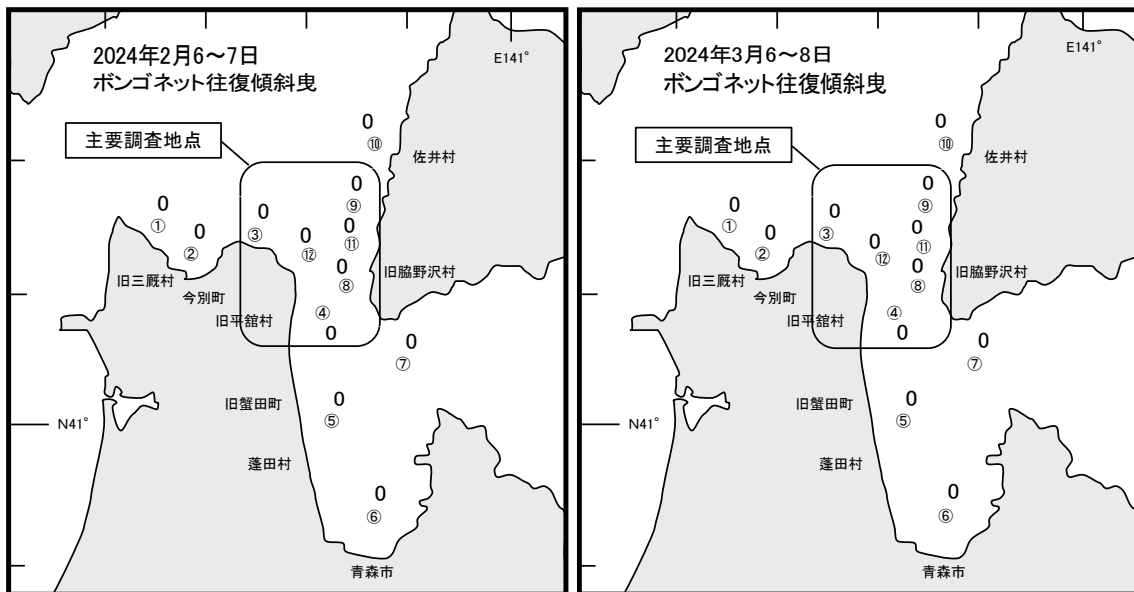


図1 各調査点におけるイカナゴ類の出現個体数 (左: 2月調査、右: 3月調査)

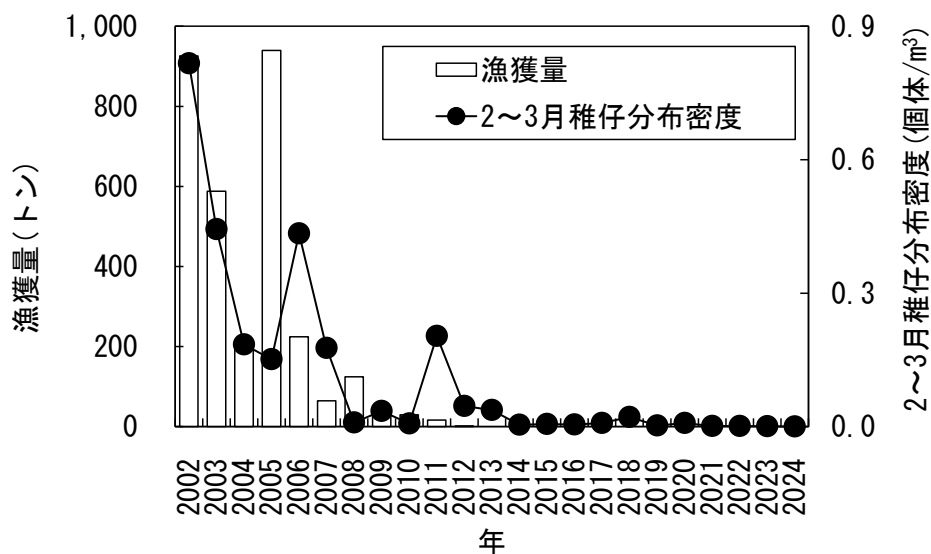


図2 イカナゴ類漁獲量(外ヶ浜町～佐井村)と稚仔分布密度(主要調査地点平均値)の年推移